

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 MPC-22 P-1S (三菱カラーペーパー用発色現像スターター)
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
担当部門 : 技術環境部
問い合わせ窓口 : イメージング事業部 IJ・フット営業部 (電話番号03-5600-1508)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外
皮膚腐食性/刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2

*危険/有害性の大きさ (区分) は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。
*記載のないものは、分類対象外または分類できない。

ラベル要素 絵表示



感嘆符

注意喚起語 警告

危険有害性情報 強い眼刺激 (区分2)

注意書き

【予防策】

保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【対応】

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般 : 発色現像スターター

成分及び含有量	化審法	CAS No.	含有量%
炭酸水素カリウム	(1)-153	298-14-6	3-7
炭酸カリウム	(1)-153	584-08-7	3-7
炭酸水素ナトリウム	(1)-164	144-55-8	3-7
塩化ナトリウム	(1)-236	7647-14-5	3-7
有機酸ナトリウム塩	(2)-3631	133986-51-3	1-5
水	対象外	7732-18-5	70-90

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させて下さい。医師に連絡して下さい。
皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水/シャワーで洗って下さい。刺激が強まったり、続く場合には医師の手当てを受けて下さい。汚染された着衣は、再度使用する前に洗濯して下さい。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗って下さい。コンタクトレンズをしている場合は、可能なら外し、その後も洗浄を続けて下さい。眼の刺激が続く場合、眼科医の診断/手当てを受けて下さい。
飲み込んだ場合 : 水で口の中を良く洗って下さい。不快感が続くようであれば医師の手当てを受けて下さい。

5. 火災時の措置
- 消火剤 : 散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
 - 使ってはならない消火剤 : 通常の条件下では、不適切な消火剤はない。
 - 特定の消火方法 : 周辺火災の場合、可能ならば移動可能な容器は速やかに安全な場所に移して下さい。関係者以外は速やかに安全な場所に退去して下さい。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮して下さい。
 - 保護具等 : 消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用して下さい。熱により成分が分解してCOxガスが発生する場合があります。風上から消火活動を行って下さい。

6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収して下さい。
 - 保護具及び緊急時措置
 - 環境に対する注意事項 : 薬品が河川等に排出されないように注意して下さい。
 - 除去方法 : 漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流して下さい。回収したものを廃棄の場合は関係法令に従って下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意
- 安全取扱い注意事項
 - 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにして下さい。取扱い後に、手や顔等をよく洗って下さい。
 - 局所排気・全体換気 : 作業場は換気を充分に行なって下さい。
 - 注意事項 : 作業後には、手、顔等をよく洗って下さい。
 - 保管 : 直射日光を避け、涼しい場所に置いて下さい。充分な強度を有するプラスチック容器を使用して下さい。容器は密栓して下さい。子供の手の届くところには置かないで下さい。

8. 暴露防止及び保護措置
- 設備対策 : 換気扇による強制換気を行って下さい。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗って下さい。
 - 管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定
 - 許容濃度 日本産業衛生学会 : 未設定
 - ACGIH/TLV : 未設定
 - 保護具
 - 呼吸器 : 適切な呼吸用保護具
 - 手 : 不浸透性保護手袋
 - 眼 : 保護眼鏡、及び顔面保護具
 - 皮膚及び身体 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質
- | | | | |
|---------------|-----------------|--------|--------------|
| 形状 | : 液体 | 色 | : 無色 |
| 臭い | : 無臭 | pH | : 9.4 (25℃) |
| 融点 | : データなし | 沸点 | : >100℃ |
| 引火点 | : 引火性はない | 自然発火温度 | : 通常の取扱いでは安定 |
| 燃焼又は爆発範囲 | : データなし (上限、下限) | 分解温度 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし | 蒸気密度 | : データなし |
| 比重 | : 1.135 (相対密度) | 溶解度 | : 水に易溶 |
| n-オクタール/水分配係数 | : データなし | | |

10. 安定性及び反応性
- 安定性 : 通常の取扱い条件では安定である。
 - 反応性 : 特になし。
 - 避けるべき条件 : 直射日光、凍結
 - 混触危険物質 : 特になし。
 - 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、炭酸ガス

11. 有害性情報
- 急性毒性 : LD50 >2000mg/Kg (ラット経口)
 - 皮膚腐食性/刺激性 : 刺激性あり
 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 刺激性あり
 - 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
 - 発がん性 : IARC (国際がん研究機関) のランク [1;2A;2B] 物質の有無 : 該当物質なし

12. 環境影響情報
- 生態毒性 : データなし

残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて、運搬、処理を委託して下さい。

廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物（廃アルカリ）、水質汚濁防止法：生活環境項目、下水道法：下水の排除の制限】

汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後に処分して下さい。

1 4. 輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従って下さい。航空輸送はIATA規則の規定に従って下さい。

国連番号 : 非該当

国連分類 : 非該当

容器等級 : 非該当

緊急時応急措置指針番号 : 非該当

1 5. 適用法令

安衛法 : 非該当

化管法 : 非該当

毒劇法 : 非該当

消防法 : 非該当

1 6. その他の情報（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の手配を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意して下さい。本 SDS に記載の要素は、実際の製品には表示されない場合があります。